

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針	教職員	①私は、学校教育目標や教育方針を理解し、達成できるよう努めている。	<p>50% 44% 6% 0% 0%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね肯定的な評価であるが、職員、地域に回答において自己評価が低い。 ・規模の小ささから、1回答当たりの割合が大きくなってしまふ。 ・「そう思う」「そう思う」の明確な基準については不明瞭のため、遠慮して「そう思う」と回答したものが隠れていると考えられる。
	児童	①私は、学級目標や個人目標を達成するために努力している。	<p>43% 48% 8% 2% 2%</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、各種便り等での一層の周知。 ・保護者地域の皆さんが学校に足を運んでもらえる機会を増やす。
	保護者	①私は、学校教育目標や教育方針を知っている。	<p>14% 71% 15% 0% 0%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね肯定的な評価になっており、不自然なところはない。 ・地域を巻き込んだ取組をこれからも実施して行ってほしい。
	地域	①私は、学校教育目標や教育方針を理解している。	<p>42% 42% 3% 10% 3%</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学級経営	教職員	②私は、児童のよさや可能性を発揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そう思う」を回答する職員の割合が児童、保護者、地域と比較して低い。職員が厳しく自己評価をしており、自らを律する姿勢の表れと考えられる。 ・児童、保護者、地域の回答は90%以上が肯定的なものであり、子供たちは学校生活を楽しんでいることが窺える。
	児童	②私は、学級での生活が楽しいと感じている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□系列1 □系列2 □系列3 □系列4 □系列5</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き子供たちの良さを引き出せる学級経営、学校運営に取り組んでいく。
	保護者	②学校は、児童のよさや可能性を発揮できる学級づくりをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが楽しそうに生活していることがうかがえる。 ・これからも楽しい学校づくりを進めていってほしい。
	地域	②学校は、児童のよさや可能性を発揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導①	教職員	③私は、児童が意見を主体的に発表したり、他者の意見を聞いたりして学びを深める授業を実践している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の回答は「大体そう思う」の割合が「そう思う」より多いが、児童、保護者、地域は「そう思う」の割合の方が多い。 ・概ね肯定的な回答が多い。 ・子供たちが主体的に活動している実感があることが窺える。
	児童	③私は、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれながら勉強している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の実現をこれからも図っていく。 ・引き続き授業改善を図っていく。
	保護者	③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが意欲的に学んでいる様子が伝わる。 ・学びについては、学校だけでなく、保護者からのアプローチも必要であると考える。 ・学びに対して、地域の力をもっと活用できるよう人材の掘り起こしをしていく必要がある。
	地域	③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導	教職員	④私は、学習目標達成のために学習用端末や大型モニタ等のICT機器を活用して、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の回答が、他の回答に比べて肯定的ではない。「良く活用している」イメージのハードルがとても高く、評価の低さにつながっている。 ・「活用している／していない」が「できる／できない」ととらえられ、評価の低さにつながっているのではないかと考えられる。
	児童	④私は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりして、積極的に授業に参加している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用事例の共通理解や研修を進め、引き続き積極的な活用を図った授業を実施していく。 ・「ICT機器を文房具のように使う」ことを継続し、デジタルとアナログのバランスを取りながら学習を進めていく。同時に、学校の取組を保護者、地域等に発信し、お互いの思いやニーズを双方向で反映させていく。
	保護者	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の活用について、モラル、リテラシーの面で心配がある。 ・授業の様子を見るとモニターや端末等をよく使っている印象があるので、教職員の回答の数値が気になる。 ・活用と情報モラルについて、バランスを取りながら進めていってほしい。 ・海外では脱ICTの流れもあるので、これからの取組に注目している。
	地域	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
体力	教職員	⑤私(学校)は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持久走大会等の取組でよく取り組んでおり、回答も概ね肯定的な割合となっている。 ・運動の得意/不得意や好き/嫌いに回答が影響されていたり、体調によってあまり取り組めていない場合もあったりした割合となっている。
	児童	⑤私は、体育や休み時間に、校庭や体育館などでいろいろな運動をして、体力をつけようと努力している。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事を関連させた体育の取組をこれからも充実させていく。 ・運動の要素を取り入れた休み時間の遊びの充実や環境整備を進めていく。
	保護者	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね良い評価になっている。 ・先日の持久走大会(1月末)の取組がよかった。 ・子供と地域の人と一緒に活動できることを増やしてほしい。
	地域	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。		

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導 ①	教職員	⑥私は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭と連携・協力しながら対応している。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織的に対応できている回答の中、児童に「そう思わない」回答がある。実際の課題や経験等がない場合は「そう思わない」方に回答してしまうことがあるので、見極めが必要。 ・スピーディーな対応と情報提供、保護者との連携を図ることができている。
	児童	⑥私は、いじめやトラブルなどの問題に対して、先生やおうちの人に相談し、一緒に解決しようとしている。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き組織的で迅速な対応、「困ったことは一人で抱えない」ことの周知と取組の徹底を図っていく。 ・関係機関とも連携し、対応強化を図っていく。
	保護者	⑥学校は、いじめやトラブルなどの問題に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブル対応については、地域からは見えにくいもので、学校に任せることがほとんどである。 ・学校だけが頑張るのではなく、保護者の側からも解決に向けてアプローチしていく必要もあると感じている。 ・引き続きいじめの解消の徹底を図ってほしい。
	地域	⑥学校は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。		

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導	教職員	⑦私は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的な回答が多く、積極的な生徒指導の実践が図られていると考えられる。 ・一人一人の自己肯定感を高めながら児童理解、生徒指導を進めてきた成果であると考えられる。
	児童	⑦私は、自分のよさや可能性を伸ばしたり、友達との関わりを大切にしながら、自分の目標に向かって行動したりしている。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き児童理解研修をはじめとした研修、組織的な対応を進めていく。 ・保護者との連携を図りながら、一人一人を大切にしたい取組を実践していく。
	保護者	⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の無回答は前項と同様、学校の取組が地域には見えにくいことの表れであると考えられる。 ・子供たちを大切にしながら、挨拶や協力などについてもその良さや意義を教えながら取り組んでほしい。 ・家庭へも働きかけながら、みんなで子供を育てていけるようにしたい。
	地域	⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。		

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
特別支援教育	教職員	⑧私は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員、児童、保護者の肯定的な回答は80%以上であり、取組について理解と協力が得られていると考えられる。 ・ホームページや保護者会等での積極的な情報提供により、通級指導教室などの取組が理解を得られていると考えられる。
	児童	⑧私は、苦手なことなどを、先生やおうちの人に相談し、一緒に解決しようとしている。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き情報提供や保護者との密な連携を進め、一人一人の個性に合わせた指導や取組を進めていく。 ・学校と保護者だけでなく、関係機関とも連携をしながら取組を充実、進化、発展させていく。
	保護者	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校の外からは分かりにくい内容である。 ・他の項目の回答も参考にしながら、学校はよく取り組んでいるのではないかととらえている。 ・課題を持つ子供たちは多い。その原因は本人だけでなく、家庭的な環境も影響しているものもあると考えている。地域として何か手伝えること、力になれることも限られているだろうが何かないかと思う。 ・引き続き、学校には努力していただいたい。
	地域	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。		

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
地域とともにある学校	教職員	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との協力・連携に際して直接関係している場合とそうでない場合の回答の開きが感じられる。 ・地域との連携の大切さは理解してるが、具体的な取組について満足していない状況があると考えられる。
	児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からの要請だけでなく、地域や保護者からのニーズを集め、それを反映させた取組を推進していく。 ・学校から情報発信をより活性化させ、学校に地域、保護者の思いや力を結集させる。また、地域に眠っている新たな教育力を掘り起こし、地域とともにある学校づくりを推進していく。
	保護者	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに協力している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域自治体にはまだまだ人材が眠っている。回覧板等を活用して人材を掘り起こすことができると考えている。 ・学校からの呼びかけだけでなく、地域の人材や団体からのアプローチを受けた活動も増やしていけるとよい。 ・地元の老人会や近くの企業、団体等とも連携をさらに進めていけるとよい。学校に協力したい思いは強い。
	地域	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。		

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察													
働き方改革	教職員	⑩私は、働き方改革の目的を理解し、業務改善を進め、心身ともに健康であるよう努めながら、教科指導や教育相談等に係る時間を増やし、教育の維持・向上に努めている。	<table border="1"> <caption>評価結果の割合</caption> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>38%</td></tr> <tr><td>②</td><td>50%</td></tr> <tr><td>③</td><td>13%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	38%	②	50%	③	13%	④	0%	⑤	0%	評価結果についての分析・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本校における働き方改革についてはその大切さ等を理解し、徐々に改善されてきている様子がある。 ・業務改善の成果を実感し、引き続き改善していこうとしていることが窺える。
	評価項目	割合															
	①	38%															
	②	50%															
③	13%																
④	0%																
⑤	0%																
児童			課題解決への方策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き業務改善に努め、超過勤務の軽減をはじめとしたさまざまな対策を講じていく。 													
保護者			学校関係者評価委員会による評価	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の働き過ぎは全国のニュースでも話題になっている。先生の状態は子供に大きな影響があるので、健康には留意してほしい。 													
地域																	